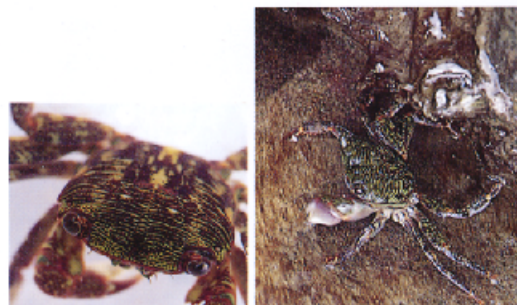


人工タイドプール

干潮時に海岸の岩場に現れる水たまりを、タイドプールといいます。

外の海に比べると、温度や塩分の濃度変化が大きく、厳しい環境ですが、プランクトンが豊富なため、生物の多様性が保たれた小空間になっています。

私たちは、湾岸施設にタイドプールを創る試みを始めています。大小の岩を高低に配置して自然の磯を再現し、潮の満ち引きにつれて、水位の異なる潮だまりができるように工夫しました。これらの場所には、小さなカニや貝が棲んでいて、満潮時には小魚の群れも見られます。



タイドプールをいそいそと動き回る小動物
写真はインガニ



岩を巧みに積んで磯を再現